



第35期 中間事業報告書

平成28年6月1日から平成28年11月30日まで

WOOD FRIENDS

Contents

株主の皆様へ.....	2
Topics.....	3
事業のご紹介.....	4
営業の概況.....	5
セグメント別業績の概況.....	6
連結財務ハイライト.....	7
連結決算の概要.....	8
株式の状況.....	9
会社の概要.....	10

株主の皆さまへ

株主の皆さまにおかれましては、時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
当社第35期第2四半期連結累計期間（平成28年6月1日から平成28年11月30日まで）の
事業概要をご報告するにあたり、ご挨拶申し上げます。

事業の主力エリアである名古屋の市場状況は、パワービルダーがさらにシェアを伸ばしております。
新規参入もあり、住宅市場の競争は激しくなっております。

このような状況下、前回の消費税率引き上げ以降、当社は主力事業である分譲住宅事業において、工業化を推進し、事業工期短縮とコストダウンを最重要課題として、マーケットイン指向で商品開発を進めてまいりました。これらの取り組みが当第2四半期連結累計期間において結果となって現れ始め、当初公表した業績予想を上回る結果を出すことができました。今後も住宅事業の工業化を継続して進め、一層の利益改善を進めてまいります。

さて、少子高齢化が進む時代における住宅産業の大きな課題は、他の産業同様、「環境対応」「IT活用」「海外展開」「適正労働」であると考えます。厳しい企業間競争を勝ち抜いていくためには、これらに積極的に取り組むことで好業績を導く必要があります。そのためにも一定以上の市場シェア獲得は急務であり、お客さまから支持される商品づくりを常に進めるとともに、商品供給体制の増強を図っていく所存です。

これから10年後、20年後も地域社会での生活文化の発展に貢献し、社会的価値を提供できる会社にしていくことをめざし、社員一人ひとりが継続的に誇りとやりがいを持って、未来を創造できる会社にしていきたいと考えております。

株主の皆さまにおかれましては、これまでと変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



平成29年2月
代表取締役 前田 和彦

本社ショールームをリニューアル



ウッドフレンズ 本社(名古屋市中区)

住まいのありかたを表現した空間となっております。

平成28年8月、名古屋市中区にある本社のショールームをリニューアルいたしました。

ダイニングテーブルなどオリジナルインテリア商品を表示し、カーテンやブラインドなどを実際に組み合わせながらインテリア空間を体験することができます。また、子会社株式会社フォレストノートが運営する岐阜工場で製造している柱や梁、うづくり羽目板などを使用したキッズスペースや家具を設置し、弊社の家づくりの思想とこれからの新しい

ウッドデザイン賞の受賞

平成28年3月に名古屋ビルディング内にオープンした「ビルナカ材木屋」を中心とした弊社グループの国産材流通の仕組みが、ウッドデザイン賞2016(ソーシャルデザイン部門コミュニケーション分野)を受賞いたしました。

「ビルナカ材木屋」は、お客さまが木造住宅の構造材の樹種や工法に自ら触れて、購入できる店舗です。

岐阜工場と提携工場のネットワークを利用して、原木の仕入れから製造・加工までを一貫体制で行い、EC

サイトを活用して営業効率を高めることで、高品質な国産材を低価格で提供しています。今後も弊社グループでは国産材の魅力向上、利用拡大につながる商品の企画、開発に積極的に取り組んでまいります。



ビルナカ材木屋(名古屋市中村区)

国産材でつくる地震に強い家

基幹事業である住宅事業において、当期から「国産材でつくる地震に強い家」として商品の強みをお客さまに訴求し、販売拡大に取り組んでいます。

弊社グループは、国が推進する国産材利用促進に賛同し、供給する住宅に国産材を多く使用しています。原木の仕入れから製造・加工・販売まで、商社や問屋を通さず内製化し、これまでの常識だった複雑な流通を大きく省くことで、他社には真似のできないコストパフォーマンスと、国産材では難しいといわれる安定供給を実現しています。

また、弊社の住宅は高耐震パネル工法を採用しています。この工法の耐力壁(以下、真壁式)と一般的に広く使われている耐力壁である大壁式や筋交いを実験により比較した結果、真壁式は大壁式の1.5倍、筋交いと比べると2倍の粘り性能が確認でき、他の耐力壁よりも繰返し起こる揺れに対する性能が高いという事が実証されました。

今後も環境に配慮した地震に強い家をつくり、お客さまに安心して暮らしていただける住まいをご提案いたします。

事業のご紹介

住宅事業

ウッドフレンズの原点であり、基幹事業である住宅事業。自然素材や手づくりの持ち味を美的に取り入れた感性豊かな住まい。環境・安全・健康・快適などの基本性能にも磨きをかけ、WOOD FRIENDS STYLEである「ニホンの暮らし」を追求しています。

戸建住宅事業

感性とライフスタイルを大切に、住空間を提案します。デザイナーの感覚と合理的な生産システムを融合することで、豊かな雰囲気と安定した品質を両立しています。立地特性を最大限活かした商品を揃え、これからも地域の街づくりに取り組んでいきます。



よもぎ台パート2(名古屋市名東区)

建設資材製造販売事業

岐阜工場では、住宅設計・集材材製造およびプレカットを連携させ、木材資源の有効利用と環境負荷の低減に取り組んでおります。品質の追求を徹底して行い、新商材の開発にも力を入れております。自社で生産する住宅での使用にとどまらず、工務店・プレカットメーカー・商社等への販売を拡大し、収益の向上をめざしてまいります。

AM (アセットマネジメント) 事業



ウッドフレンズ森林公園ゴルフ場(愛知県尾張旭市)

当社が、代表企業として組成した企業グループは、愛知県初のPFI事業(愛知県森林公園ゴルフ場施設整備等事業)の事業者として、ウッドフレンズ森林公園ゴルフ場を運営しています。また、平成23年4月から愛知県森林公園の指定管理者にも選定され運営を行っています。

※PFI事業: 民間の資金・経営能力を活用して公共施設等の建設・維持管理・運営等を行う事業

都市事業

都市において、時代を超えて利用され、残されていくものを基準として、投資の観点から収益不動産の開発事業を推進します。賃貸物件の新規開発や既存ビルのバリューアップを主な事業として、地域の活性化につながる事業を展開してまいります。

生活関連サービス事業

「人と人」、「人と自然」がつながり、そのつながりの中で「自分らしくあること」を実感できる「場所」づくりがこれからの超高齢化社会には必要です。自宅でも介護施設でもない「新しい場所」の創造と、そこで生まれるたくさんの笑顔に、新しい価値を見出す事業活動に取り組めます。



フィットネスデイ こかん 徳川(名古屋市東区)

営業の経過および成果

当第2四半期連結累計期間（平成28年6月1日～11月30日）における東海地域の経済は、海外経済・為替動向の先行き不透明感を抱えながらも回復を続け、輸出は、熊本地震による自動車産業における供給網の混乱等の影響が薄れるもとで緩やかに増加しました。また個人消費は、雇用環境が改善する中で緩やかに持ち直しました。

当地域の不動産業界においては、名古屋圏の都市部を中心として商業地・住宅地ともに地価上昇が続いておりますが、住宅地の上昇幅は縮小しました。愛知県の新設住宅着工戸数は、前年同時期と比べて増加しており、住宅ローンの低金利等に支えられた需要環境の下、住宅市場の持ち直し基調は緩やかに続いております。

このような状況下、当グループの主力事業である分譲住宅事業では、前期から引き続き、事業工期短縮とコストダウンを最重要課題として進めました。また、集成材製造・プレカット加工を行う岐阜工場を中心とした建設資材事業では、製造・物流コストの低減活動を進めるとともに販売先の拡大に注力してまいりました。その結果、これまでの各種改善活動の成果が表れ始め、主に戸建分譲住宅事業の利益率が消費税率引き上げ前の水準となり、四半期純利益が当初公表した業績予想値を上回ることとなりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりです。

なお、前第3四半期連結会計期間から、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

①住宅事業

戸建分譲住宅の開発・販売を主力事業とし、住宅建設資材の製造・販売も行っております。前年同期と比べて、販売効率が向上したことと住宅建築のコスト改善活動が進んだこと等により、売上高は13,079百万円（前年同期比17.8%増）、セグメント利益は589百万円（前年同期比838.4%増）となりました。

②AM事業

ゴルフ場並びに公共施設の運営管理及び施設管理を行っており、業績は概ね計画どおり進捗しました。売上高は877百万円（前年同期比9.3%増）、セグメント利益は225百万円（前年同期比8.7%増）となりました。

③都市事業

収益型不動産の開発並びに施設等の維持管理等を行っております。当第2四半期連結累計期間では物件の売却を行わなかったため、売上高は129百万円（前年同期比9.4%減）、セグメント損失は10百万円（前年同期は4百万円の損失）となりました。

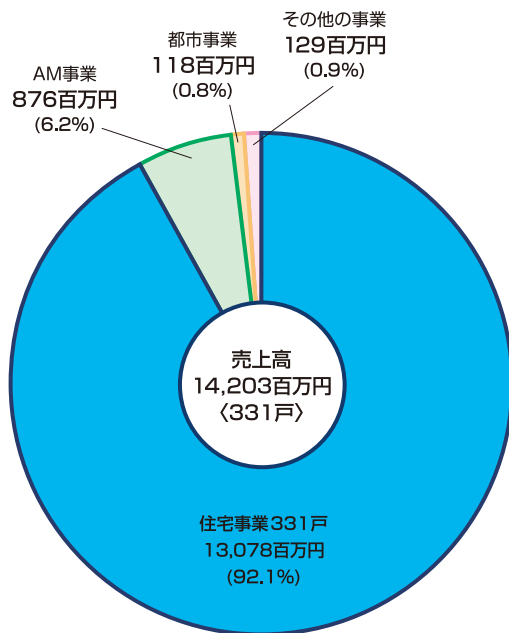
④その他の事業

その他の事業における売上高は176百万円（前年同期比84.4%減）、セグメント利益は22百万円（前年同期比89.8%減）となりました。

以上の結果により、当第2四半期連結累計売上高は14,203百万円（前年同期比8.2%増）、営業利益は560百万円（前年同期比151.4%増）、経常利益は434百万円（前年同期比290.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は274百万円（前年同期比495.4%増）となりました。

セグメント別業績の概況

セグメント別売上構成

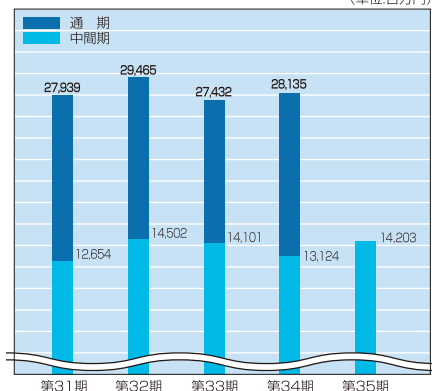


(注) 1. セグメント別売上高は、セグメント間の内部取引高を消去して表示しています。

連結財務ハイライト

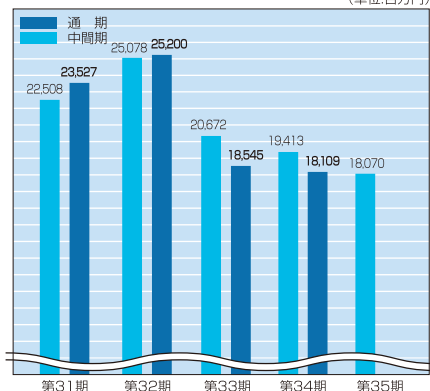
売上高

(単位:百万円)



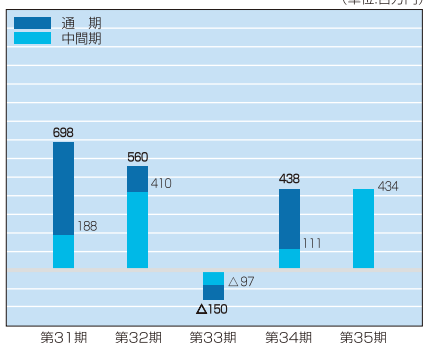
総資産

(単位:百万円)



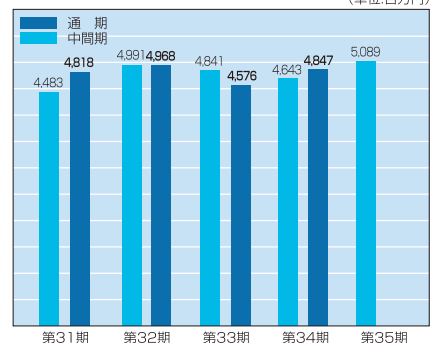
経常利益

(単位:百万円)



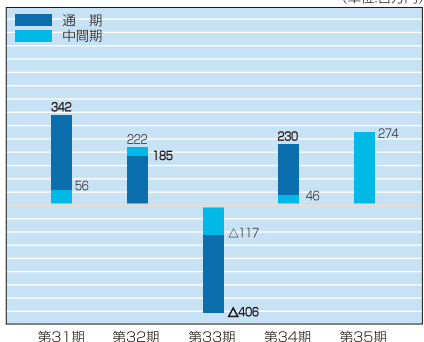
純資産

(単位:百万円)



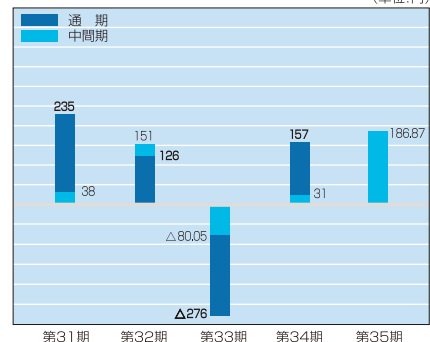
当期純利益

(単位:百万円)



1株当たり当期純利益

(単位:円)



※ 1株当たり当期純利益については、平成26年3月1日付の株式分割が第31期期首に行われたと仮定した値を記載しております。

連結決算の概要

連結貸借対照表

(単位:千円)

科 目	前連結会計年度末 (平成28年5月31日現在)	当第2四半期 連結会計期間末 (平成28年11月30日現在)
	金 額	金 額
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,057,523	4,186,396
完成工事未収入金及び売掛金	307,812	306,990
たな卸資産	11,042,670	10,938,395
その他	557,671	560,149
流動資産合計	15,965,677	15,991,932
固定資産		
有形固定資産	1,728,281	1,665,575
無形固定資産	128,919	121,781
投資その他の資産	286,993	291,419
固定資産合計	2,144,194	2,078,775
資産合計	18,109,872	18,070,708

負債の部

流動負債

工事未払金及び買掛金	1,228,532	1,541,698
短期借入金※	7,729,870	6,907,773
未払法人税等	99,163	116,338
その他	998,900	1,005,988
流動負債合計	10,056,466	9,571,799

固定負債

社債	79,000	93,300
長期借入金	2,071,194	2,364,790
その他	1,055,755	951,286
固定負債合計	3,205,950	3,409,376
負債合計	13,262,416	12,981,175

純資産の部

株主資本

資本金	279,125	279,125
資本剰余金	279,908	279,908
利益剰余金	4,066,135	4,281,608
自己株式	△ 21,033	△ 21,033
株主資本合計	4,604,134	4,819,607
その他の包括利益累計額	782	1,673
非支配株主持分	242,538	268,251
純資産合計	4,847,455	5,089,532
負債・純資産合計	18,109,872	18,070,708

※1年内返済予定の長期借入金を含めて表示しています。

連結損益計算書

(単位:千円)

科 目	前第2四半期 連結累計期間 (自平成27年 6月 1日 至平成27年11月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自平成28年 6月 1日 至平成28年11月30日)
	金 額	金 額
売上高	13,124,662	14,203,749
売上原価	11,509,969	12,215,182
売上総利益	1,614,693	1,988,566
販売費及び一般管理費	1,391,700	1,427,933
営業利益	222,992	560,632
営業外収益	25,721	21,489
営業外費用	137,405	147,409
経常利益	111,309	434,712
特別利益	16	—
特別損失	—	2,974
税金等調整前当期純利益	111,325	431,737
法人税等※	44,944	131,866
四半期純利益	66,381	299,870
非支配株主に帰属する四半期純利益	20,337	25,712
親会社株主に帰属する四半期純利益	46,044	274,157

※法人税等調整額を含めて表示しています。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期 連結累計期間 (自平成27年 6月 1日 至平成27年11月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自平成28年 6月 1日 至平成28年11月30日)
	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	44,092	810,026
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 40,317	△ 75,921
財務活動によるキャッシュ・フロー	575,209	△ 604,031
現金及び現金同等物の増減額	578,984	130,073
現金及び現金同等物の期首残高	2,795,946	4,040,121
現金及び現金同等物の期末残高	3,374,930	4,170,195

連結対象子会社（6社）

会社名	主な事業内容
株式会社 Design & Construction	住宅のリフォーム
森林公園 ゴルフ場運営 株式会社	ゴルフ場サービスの提供
株式会社 リアルウッド マーケティング	不動産の仲介・分譲住宅の 販売代理・損害保険代理店業
株式会社 フジプロ(ティ)	ビルメンテナンス
株式会社 フォレストノート	建設資材の製造・販売 注文住宅の設計・施工
株式会社 izmデザイン	広告サービスの提供

※平成29年3月1日をもちまして
株式会社Design & Constructionを吸収合併いたします。

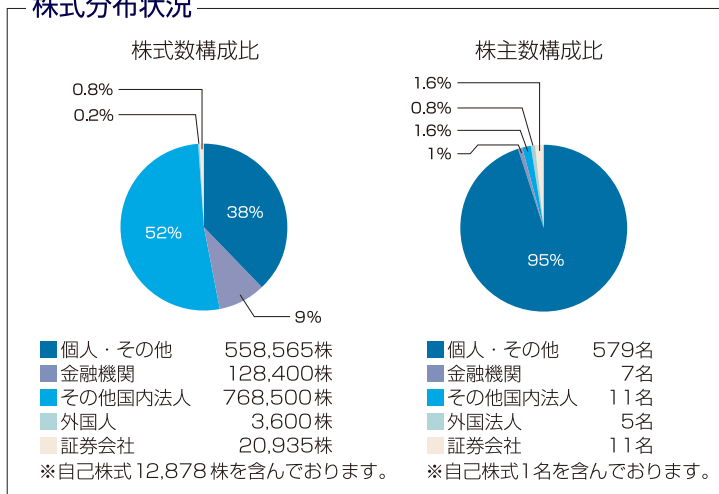
株式の状況

会社が発行する株式の総数…………… 4,800,000株
 発行済株式の総数(自己株式を含む)…………… 1,480,000株
 株主数…………… 613名

大株主

株 主 名	当社への出資状況	
	持株数(株)	議決権比率(%)
ベストフレンズ有限会社	616,200	42.0
株式会社東邦レオホールディングス	120,000	8.1
前 田 和 彦	44,200	3.0
前 田 扶 美 子	44,200	3.0
橘 俊 夫	44,100	3.0
松 岡 明	44,000	2.9
嶋 崎 弘 之	43,000	2.9
柴 田 芳	40,000	2.7
株式会社みずほ銀行	36,000	2.4
株式会社三菱東京UFJ銀行	24,000	1.6
株式会社りそな銀行	24,000	1.6
株式会社十六銀行	24,000	1.6

株式分布状況



会社の概要

商号 株式会社ウッドフレンズ
設立 昭和57年11月26日
資本金 279,125,000円
社員数 109名(197名) ※()内は関連会社を含む社員数
※平成28年11月30日現在

本社 〒460-0008
名古屋市中区栄四丁目5番3号 KDX名古屋栄ビル2F
TEL 052-249-3503 (代表)
FAX 052-249-4267

主要な事業所 東京支店
東京都千代田区有楽町一丁目10番1号 有楽町ビル3F
ビルナカ材木屋
名古屋市中村区名駅三丁目28番12号 大名古屋ビルヂング10F
名古屋東展示場
名古屋守山区大字下志段味字廻間145番地7
岐阜工場(株式会社フォレストノート)
岐阜県養老郡養老町大坪15番地1

子会社 株式会社Design&Construction 森林公園ゴルフ場運営株式会社
株式会社リアルウッドマーケティング 株式会社フジプロパティ
株式会社フォレストノート 株式会社izmデザイン

役員構成 代表取締役 前田 和彦
代表執行役員
(森林公園ゴルフ場運営株式会社 代表取締役)
取締役 笹原 利明
上席執行役員
取締役 加藤 猛雄
上席執行役員
(株式会社フォレストノート 代表取締役)
取締役 伊藤 嘉浩
執行役員
取締役 吉田 祥子
執行役員
(株式会社Design & Construction 代表取締役)
取締役 川口 一幸
常勤監査役 松浦 和雄
監査役 阪野 實
監査役 大場 康史
執行役員 林 知秀
(株式会社izmデザイン 代表取締役)
執行役員 大竹 康明
株式会社リアルウッドマーケティング
代表取締役 矢住 太郎
株式会社フジプロパティ
代表取締役 幸田 望
※取締役 川口一幸は社外取締役
監査役 阪野實・大場康史は
社外監査役であります。

取引銀行 愛知銀行 愛知県信用農業協同組合連合会
愛知信用金庫 いちいち信用金庫
大垣共立銀行 岡崎信用金庫
蒲郡信用金庫 関西アーバン銀行
岐阜信用金庫 十六銀行
商工組合中央金庫 瀬戸信用金庫
第三銀行 第四銀行
知多信用金庫 中京銀行
東濃信用金庫 豊田信用金庫
名古屋銀行 百五銀行
百十四銀行 三重銀行
みずほ銀行 三井住友銀行
三井住友信託銀行 三菱東京UFJ銀行
山口銀行 りそな銀行
(五十音順)

事業許可番号 特定建設業
愛知県知事許可(特-28)第40178号
宅地建物取引業
国土交通大臣免許(4)第6013号
一級建築士事務所
愛知県知事登録(い-27)第5644号

株主メモ

事業年度 6月1日から翌年5月31日まで

配当金受領株主確定日 5月31日

なお、中間配当を実施する場合の株主確定日は、
11月30日といたします。

定時株主総会 8月

公告方法 電子公告

ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由
が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

電子公告のホームページアドレス
<http://www.woodfriends.co.jp/ir/index.html>

貸借対照表掲載のホームページアドレス
<http://www.woodfriends.co.jp/ir/kessan.html>

会計監査人 有限責任 あずさ監査法人

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 〒100-8233
(特別口座管理機関) 三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 名古屋市中区栄三丁目15番33号 〒460-8685
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 〒168-0063
(電話照会先) 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び
全国各支店で行っております。

(お知らせ)

●住所変更等のお申出先について

株主さまの口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主さまは、
特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

●未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

株式会社 **ウッドフレンズ**

本社 名古屋市中区栄四丁目5番3号
KDX名古屋ビル2F

TEL 052-249-3503(代表)

URL <http://www.woodfriends.co.jp>